

講演「手賀沼と流域の人々の生活」

手賀沼の成立・漁業・ウナギ・鳥猟・行商

手賀沼は現在、戦後、急激な都市化の進展による水質汚濁により、漁業は衰退し水鳥も減少した、だが昔の手賀沼には豊かな多様性のある生態系が存在し、人々は沼と共に生活を営み共存して来た。講演から学び手賀沼再生を考えて見ませんか。

講演者：相原 正義さん

流山市立博物館友の会会員、柏日体高校教諭をへて北海道教育大学教授、定年後に中央学院大学、聖徳大学、法政大学講師

著書：「手賀沼百話」「柏新風土記」「柏その歴史・地理」「一つの手賀沼」他

日時：平成26年6月7日(土)2時45分～4時30分

場所：千葉県手賀沼親水広場 水の館3F 研修室

我孫子市高野山新田 193 電話 04-7184-0555

講演内容

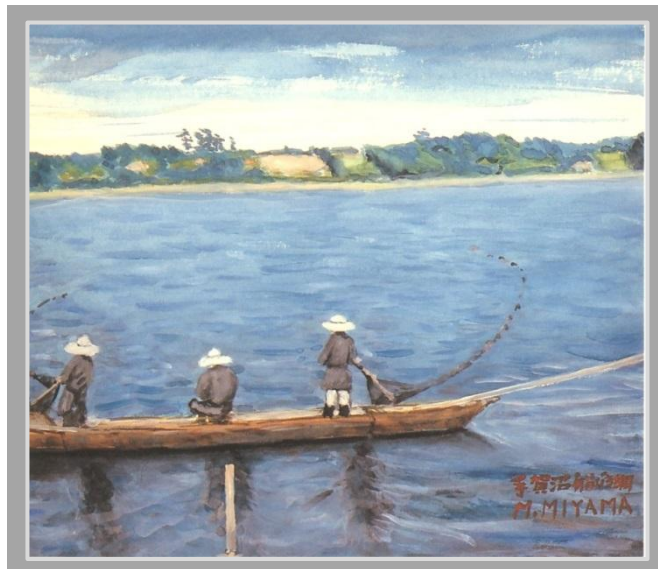
手賀沼の形成→地質学的な研究成果について

手賀沼の漁業史→①漁業の始め、②江戸時代の漁業、③漁業組織の変遷

手賀沼の漁業→①調査魚種、②手賀沼のウナギ

消えた鳥猟→①カモ猟の資料、②香取鳥見神社・鴨猟記念碑

行商の人たち→①行商のはじまり、②我孫子成田線の魚商



絵：故深山正巳さん「手賀沼の船曳網漁」

多くの皆様方の参加を心からお待ちしております

主催：美しい手賀沼を愛する市民の連合会

連絡先：美手連会長 八鍬雅子 電話 04-7169-8903

* 当日は美手連総会が行われ、終了後に本講演会が開催されます。